

## 令和5年度貴重資料紹介展について

### 1 趣旨

当館所蔵の貴重資料の中から、我が国の近世及び近代において文化的功績のあった郷土の人物や歴史、文化に関連した貴重資料を展示するとともに、展示資料に関連した図書資料を案内して、利用者の生涯学習を支援する。

### 2 日程

#### (1) 第1回

令和5年8月17日(木)～令和5年10月5日(木)

#### (2) 第2回

令和5年12月27日(水)～令和6年2月29日(木)

### 3 場所

県立図書館1階正面玄関ロビー

### 4 内容

#### (1) 「いまむら あきつね今村 明恒」関係資料(第1案)

関東大震災から100年、郷土出身の地震学者・地球科学者である「今村明恒」(1870～1948)について、当館所蔵の関連資料を公開し、その功績を顕彰する。

- ・ 津波の発生原因をつきとめ、関東大震災の発生を予知した研究者で「地震の神様」と讃えられている。
- ・ 津波の防災について、幼少期からの教育が重要であると訴え、「稲むらの火」の国定教科書化に尽力した。
- ・ 地方出身者のための東京弁の指導書「東京辨」を著した。
- ・ 高校生、大学、並びに関係機関との連携(研究発表、パネル・ポスター展示等)
- ・ 第1回「かごしま歴史文化講演会」の講師：原口 泉 氏(志學館大学教授)

#### (2) 「たかぎ ぜんすけ高木 善助」関係資料(第2案)

19世紀初頭、江戸時代の末期に大阪・薩摩間を6度も往復した大阪商人「高木善助」(?～1854)について、本著書「薩陽往返記事」をはじめとする当館所蔵の関連資料を通して、当時の薩摩藩の様子を紹介する。

- ・ 一人の大阪商人の旅日記から薩摩藩(調所広郷)の財政改革を読み取る。
- ・ 本著書「薩陽往返記事」、「薩隅日三州経歴之記事」、並びに「紀行篇画帖」は、当時の薩摩藩領内の地理、交通、民俗、名勝を書き留めた歴史上貴重な記録書となっている。
- ・ 同時期の文書「三国名勝図絵」や「南島雑話」等も展示する。
- ・ 関連資料の一つに、東條館長の著書「大阪商人旅日記 薩陽紀行 一文政・天保期の南九州への旅」もあり。
- ・ 第2回「かごしま歴史文化講演会」の講師：東條 広光 館長(県立図書館)